

(環境)

小学校 6 年 「ぼくらの梅園プロジェクト」

～伝えよう！より良い環境の町～

4 月～3 月 (60 時間)

1 ねらい

- ・既習したことから基に学区を見直し、自分の住む町の価値あるいくつかの問題点を見つけ、その中から調べたり考えたりしたい追究課題を設定することができる。【問題をつかむ力】
- ・疑問や関心の持てる素材とかかわりながら、それを自分事としてとらえることができる。そして、テーマを絞ったり、グループの友達との話し合いをしたりしながら活動計画を立て、自分の追究を深めることができる。【問題を解決する力】
- ・活動した内容を様々な方法を駆使してまとめ、聞き手を納得させる発表の仕方を工夫することができる。さらに、活動を自分なり考察や結論を自分の言葉で伝えることができる。【表現する力】
- ・広い視野から地域を見つめ直し、より良い地域にするための方法を考え、自分のできることを実行する。さらに、地域の活動に参加したり、自分の考えを発信したりして、地域の人々に積極的に働きかけることができる。【実践する力】



2 実践の概要

○手だて 1 「よりよい環境」を 4 つの方面から考えさせ、学年全体を 6 つのチームに分け活動する
「20 年後の梅園学区を今よりもすばらしい環境にするためにプロジェクトを立ち上げよう。」

・食育プロジェクト「梅園食育隊」

ニュースなどで「食」の問題について関心を持っている子どもたちが、自分たちの住む学区の人たちが、安心して食べることができ、しかも健康になる食品を考え、地域に発信する

・福祉プロジェクト「人のために福祉隊」

昨年度の実践を通して、聴覚障害を持った人たちが安心して生活するのに必要な聴覚障害者シンボルマーク「耳マーク」をさらに広めていく。学区のスーパーだけではなく、多くの道行く人たちにこれをもっと分かりやすく紹介する方法を考える。

・歴史プロジェクト「建造物調査隊」

学区にある歴史的建造物・寺・神社などを調査する。そして、それをもとにまとめた地図を作り、学区の人たちに歴史のよさを知ってもらう。さらに、調査を通して、岡崎空襲で残った寺や神社などを調べ、戦争の悲惨さも伝える。

・ 「二十七曲り探検隊」

十七曲りを実際に歩いて調査し、多くの人たちに岡崎の町並みについて伝えていく。

・地域活性化プロジェクト「籠田ワクワクUP隊」

籠田公園に自分たちの手で活性化を取り戻したいと考え、理想の公園を考え、諸団体に発表する

・ 「われら伝馬 16」

大型百貨店などの進出で、賑わいをなくした伝馬通りを、自分たちのできる方法で、活性化させたい。(伝馬の夏祭りに地域の人と参加する)

○手だて 2 年間を通してそれぞれのプロジェクトと関わってくれる地域の人を確保し、地域の人に発信できる場の設定を保障する。

○手だて 3 毎月末を活動日と設定し、付き添ってくれる保護者を確保し活動する。また、毎回、活動報告の時間を確保し、子ども相互のかかわりの場を設定する。

3 実践を振り返って

体験活動を重視した単元計画と、年間を通して、地域の人たちや友達をかかわって活動していくことで、地域に愛着を持ち、自分だけの学びを友達と共有することができた。そして、その学びを地域の人たちに伝える工夫をすることができた。